

令和2年度第2回宮崎東諸県地域医療構想調整会議 議事要旨

1 日時

令和2年10月12日（月） 午後7時から午後8時まで

2 場所

宮崎県総合保健センター 5階 大研修室

3 出席者

(1) 代表者 16名

宮崎市郡医師会 会長 川名 隆司（宮崎市郡医師会病院 院長 兼務）

会員 鶴田 和仁

会員 関屋 亮

宮崎市郡歯科医師会 会長 黒木 晃一

宮崎市郡薬剤師会 会長 宮本 圭一郎

日本医療法人協会宮崎県支部 理事 濱砂 カヨ

宮崎県看護協会 理事 新原 幸子

宮崎大学医学部附属病院 院長 鮫島 浩

国立病院機構宮崎東病院 院長 塩屋 敬一

県立宮崎病院 院長 菊池 郁夫

宮崎市 健康管理部次長兼宮崎市保健所長 西田 敏秀

国富町 保健介護課 課長 坂本 浩二

綾町 福祉保健課 課長 佐藤 光久

宮崎市国保年金課 課長 長友 道明

宮崎県保険者協議会 企画総務部長 高橋 裕二

宮崎県中央保健所 所長 日高 良雄

(2) 事務局等

宮崎県地域医療構想調整アドバイザー 鈴木 斎王

宮崎県地域医療構想調整アドバイザー 金丸 吉昌

宮崎県医療薬務課 中央保健所次長、主幹、総務企画課長、総務企画担当

4 議事

(1) 今後の具体的対応方針等について〔宮崎善仁会病院〕

(2) 病床機能の変更について〔宮崎生協病院〕

(3) その他

〔議事概要〕

審議内容が個別の医療機関の経営に関する情報に該当するため、宮崎東諸県地域医療構想調整会議運営要綱第2条第2項の規定により、非公開とすることで各代表者了承

(1) 今後の具体的対応方針等について

宮崎善仁会病院から説明があった。

【主な意見等】

- ・災害の問題や新型コロナウイルス感染症発生という状況のなかで、地域医療提供体制の重要性に対する再確認、再認識があった。そのような視点においても、この計画方針は、それに沿ったものであると思う。
- ・救急の拠点については、ERのある病院として東西南北、中央にそれぞれ救急の拠点を開設することができたということで、非常にバランスの取れた救急医療体制が構築できているのではないかと思う。

【結果】

- ・これまで同様に情報を共有しながら、2025年に向けた医療体制を構築していくためにも、今後の協力をお願いし、合意を得た。

(2) 病床機能の変更について

宮崎生協病院から説明があった。

【主な意見等】

- ・新型コロナウイルス感染症対応で、特に、疑い患者の一時入院の機能は、非常に大事な立ち位置の機能を目指している。
- ・発熱患者については、地域のかかりつけ医が総力を結集していくという体制が必要ではないかと思っている。

【結果】

- ・調整会議の合意が得られた。

以上